



「MZ-Grande」の構成パーツ。右から純マグネシウム製の新開発カップ(Grande-Cup)、マグネシウムインシュレーター「MZ-1」「MZ-2」、最高峰のオーディオラック「GMR」に初採用された「D-REN Tuning Ring」

グネシアラック」にて初採用された「D-REN Tuning Ring」を、カップの内部（MZ-1」の下の位置）に搭載したのである。つまり構造としては下から順に「Grande-Cup」「D-REN Tuning Ring」「MZ-1」「MZ-2」の4層となるインシュレーターというわけだ。その効果やいかに？ ついに自宅試聴が叶ったので、我が家で最も脚回りに敏感な機器のひとつ、ソネットィアのSACDプレーヤーで試してみた。

非常に深い音場表現と未体験の鮮度の高さ

まずプレーヤーの四隅の脚を避けて底板を直接、3個の「MZ-Grande」で支えて聴いてみる。タン・ドゥン『交響曲1997「天、地、人」』は、冒頭で多数打ち鳴らされる鐘の各音像がキユッと引き締まり定位もシャープに。太鼓群はアタックの立ち上がり・立ち下がりが峻烈になりつつその余韻が拡がり消えゆくさまがまさに見えるかのように鮮やかだ。これはライブ録音空間のノイズフ



設置面には十字型の溝とファントムアースダクトを呼ぶセンター穴を配置

ロアがグーン！と下がったのも効いているのだろう。特筆すべきは、これほどの振動吸収効果を聴かせながらも、鐘の帯域バランスや児童合唱の質感バランス、そして各楽器の伸びやかさに一切作爲的な変化が生じていないことだ。実用金属中、最も振動吸収性能が高いマグネシウムはその高い効果の反面、使い方を誤ると帯域バランスを崩したり質感をバサつかせたり伸びやかさを失わせて詰まった表現にしたりしてしまうことがある。しかし前作「TMXシリーズ」よりマグネシウムの絶対的な使用量が断然多くなったにも関わらず、「MZ-Grande」にそれらの副作用はまったく感じられないのだ。さすが、長年マグネシウム製品を数多く設計・チューニングしてきたティグロンである。

試しに、今度はプレーヤーの4つの脚それぞれの下に「MZ-Grande」を設置してみる。底板に直接設置していたときよりもCDドライブや電源トランス等の振動源からは遠ざかるが、副作用の無いインシュレーターが3個から4個に増えたことの方が大きいのだろう、少なくともこのプレーヤーに関しては4点の方が音が良いようだ。明らかに各音像が立体感を増したのである。

この状態で聴く有田千代子（チェンバロ）、若松夏美（バロック・ヴァイオリン）他『ラモ…コンセルによるクラヴサン曲集』は音場にエアリー感が濃厚。チェンバロ、バロック・ヴァイオリン、フラウト・トラヴェルソ、そしてヴィオラ・ダ・ガンバが古楽器再生にありがちなキツさを聴かせない。解像度は高まったのにむしろ逆に聴きやすくなる。各音像の音色を構成する複雑な成分が激増して、不要振動がマスクしていた成分もストレートに表現されるようになったうえ、質感の硬軟表現レンジが偏りなくストレートに拡大したからであろう。そして各音像の重なり合いに混濁感はなく、どの

楽器も伸びやかに良く歌う！アブラス指揮『マルコポーロ…オルフェウスの典礼』は冒頭の太鼓と鈴に顕著な立体感。ヴァイオリン群はブレンド感が美しく神経質などころがない。ハープも1音1音が立体的だ。他の楽音に紛れがちなフルートは分離良く周囲に空気感が聴き取れる。ホセ・ファン・ダムのバリトンとコーラス間の分離も非常に良く、音像間の前後が明瞭だ。

圧巻はミケレ・ラッピア『Lost River』である。奥方向に音場が非常に深い。しかも奥の音場のノイズフロアがガクンと下がって、上下・左右幅がはっきり聴き取れる。もちろんそこに展開する各音像それぞれにも豊かな3次元の立体感がある。そして手前、すなわちリスナーの近くで打ち鳴らされる各種金属音は聴いたことがない高さの鮮度で生々しく迫るのだ…！

インシュレーター史に残る傑作である。

音色を構成する複雑な成分が激増 どの楽器も伸びやかに歌い出す

純マグネシウム・カップをまとったインシュレーター史に残る傑作が誕生

ティグロンのハイブリッド型インシュレーターが歴史的な進化を遂げた。従来からのロシアンバーチ材製のカップを純マグネシウム製カップに進化。全面に美しいシルバーカラーをまとい、設置面には十字のスリットを設けるなど外観も一新されている。さらに内部には最高峰のオーディオラック「GMR」に初採用された「D-REN Tuning Ring」も搭載。制振性能と電磁波遮断効果を極限まで追求した仕上がりになっている。前号のデビュー記事は林 正儀氏がお届けしたが、今号では園田洋世氏がその魅力に迫っている。

Text by
園田洋世

Yousei Sonoda

Photo by 田代法生



TIGLON MZ-Grande

インシュレーター

3個セット＝¥49,500／4個セット＝¥66,000（税込）

Specifications

●構成：純マグネシウム製の新開発カップ(Grande-Cup)＋マグネシウムインシュレーター「MZ-1」「MZ-2」●カップ部：独自技術の「マグネティックZEROプロセス」、内部には最高峰のオーディオラック「GMR」に初採用された「D-REN Tuning Ring」を搭載●サイズ：高さ34.5×直径53mm ●耐荷重：1個あたり25kg以内を推奨

電磁波と振動対策の飛躍的な向上を実現

カップの中にマグネシウムのスパイク受け「MZ-1」とスパイク「MZ-2」を搭載している点は前作「TMXシリーズ」と同様だが、「MZ-Grande」はカップ部をバーチ材から純マグネシウム製の新開発「Grande-Cup」に変更することにより、いっそう高い制振・電磁波遮断効果を獲得。さらにティグロン独自の制振技術である「マグネティックZEROプロセス」をも施して振動吸収性能を飛躍的に向上させている。

これだけでも凄まじい性能アップが容易に予想されるのだが、今回ティグロンはそのさらに上を目指してきた。同社のフラッグシップオーディオラック「グランドマ